

遠隔授業について 現時点版

April 4, 2020 教授会

小田浩一（オンライン授業プロジェクトチーム）

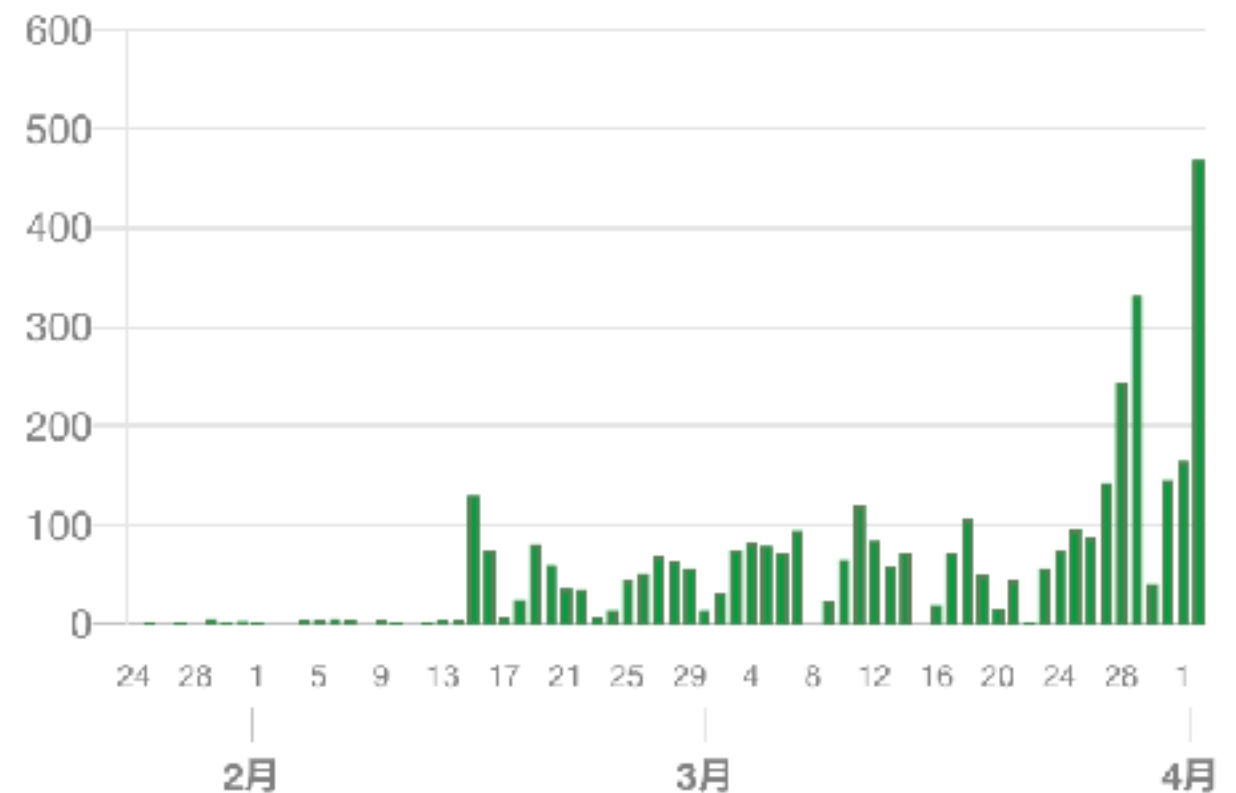
- ・ 本学で遠隔授業を可能にする
- ・ 1つの方法を押しつけない

コンテンツ

- Covid-19と授業の見通し
- 遠隔授業とはどんなことか
- デビオ会議 by zoom -> 本日FD研修
- 教材や課題のやりとり - WebClass,
Google Classroom

Covid-19と授業の見通し

- 東京は週末に累積1000人超え
- 毎日の検査は80人程度に制限
- LINE調査で7.1%に症状の1つ
- ICUのベッド数は10万人あたりドイツで30床、イタリア12床、日本は5床（日本集中治療医学会理事長声明 <https://www.jsicm.org/news/statement200401.html>)

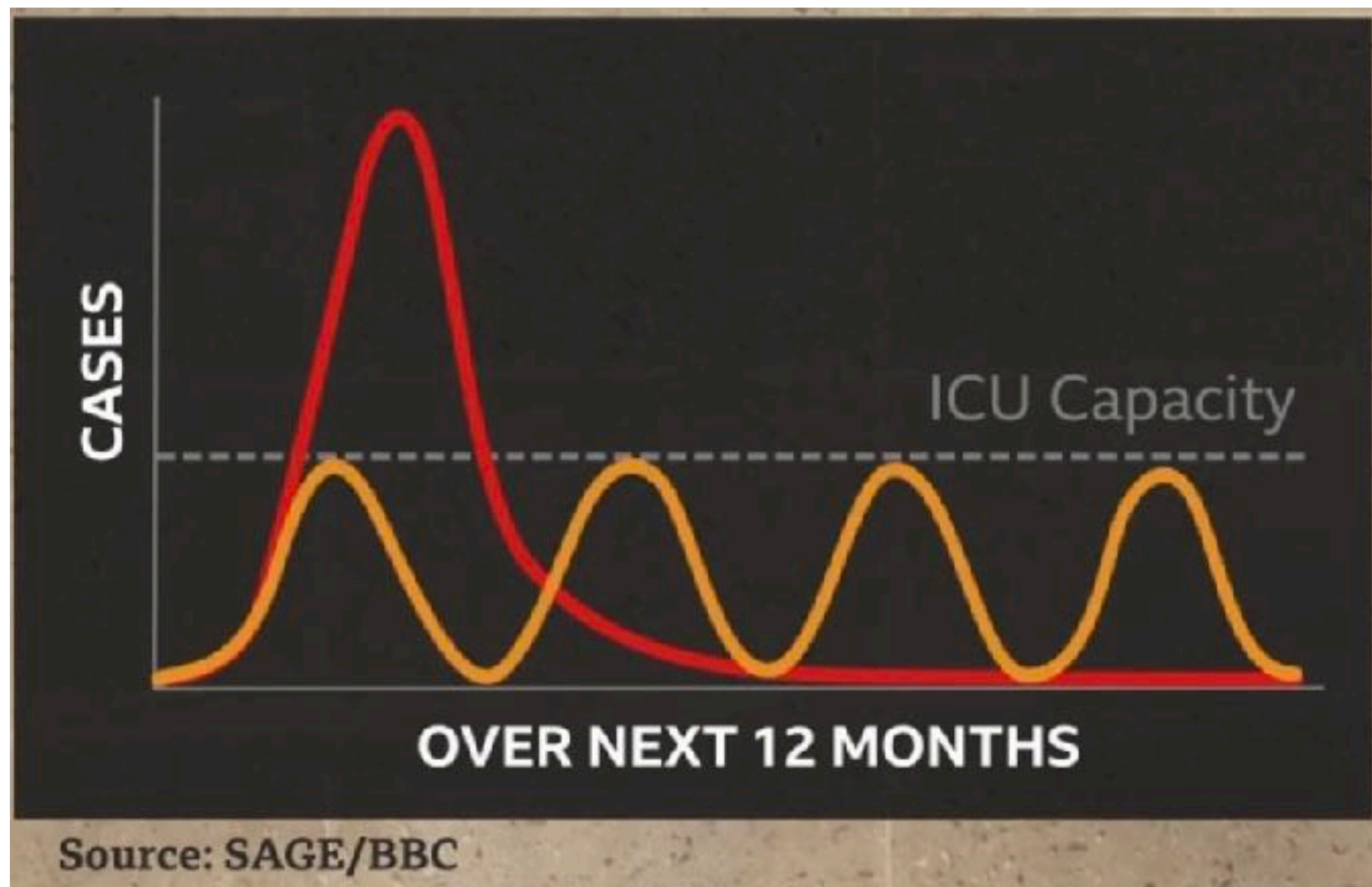


<https://stopcovid19.metro.tokyo.lg.jp>

外出規制 lock down
が行われていないこと
が不思議な状態

Covid-19と授業の見通し

- lock downは長期に繰り返される可能性がある



遠隔授業とは何か

- 文科省の
4/1の
Q&Aで
はビデオ
会議と
MOOC
形式が例

新型コロナウイルス感染症対応に係る大学での遠隔授業の事例

名古屋商科大学／大学院

【授業開始】 繰り下げず、例年通り開始

【期 間】 2020年度春学期Term1（4～5月）

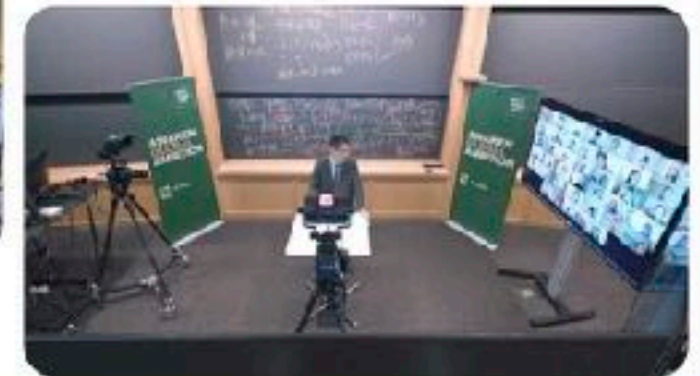
【対 象】 **すべての教室授業**（300講座）

※ケースを使用した討議授業、教科書を使用した講義授業、
ネイティブ教員との語学授業を実施

【方 法】 **同時双方向型**（**ウェブ会議サービス**を使用）

※2018年よりオンラインを活用した討論型ケース授業を通じてノウハウを蓄積

【備 考】 従来より、ノートパソコンを学部新入生全員に無償譲渡。



国際教養大学（AIU）

【授業開始】 4月9日開始を、4月20日開始に繰り下げ

【期 間】 2020年度春学期（4～7月）

【対 象】 **すべての授業**（約300講座）

※**実技を伴う授業**についても、**原則遠隔授業**で対応。

【方 法】 **同時双方向型**（**ウェブ会議サービス**等を使用）を基本
とし、**オンデマンド型**（学内オンライン学習システム
上に授業動画やスライド資料を掲載）も並行して実施。

【備 考】 世界各地の200大学と提携して交換留学生を受け入れて
おり、約8割の学生がキャンパス内の寮・宿舍等で暮
らすことから、**キャンパスを原則立入禁止**とし、自宅
で受講できる遠隔授業を導入。これを機に、海外提携大
学との連携拡大・強化を図る。

東京工業大学

【期 間】 2020年度第1Q(クォーター)（4～5月）

※授業開始日について検討中。

※状況次第では、第2Qも同様の対応となる可能性あり

【対 象】 **実技をともしない授業**

※実験・実習など**実技をともしない授業**は原則として
第1Qには開講せず、第2Qもしくは夏季休暇期間中
に開講予定。

【方 法】 **同時双方向型**

（**ウェブ会議サービス**を使用）

※令和2年4月1日時点

別紙2

遠隔授業とは何か

- 各授業は、学生の通信環境に配慮し、動画ではなく、図や文書をまとめた資料に音声を付けた電子教材を主に作成。学生は好きな時にパソコンなどにダウンロードして学習し、電子メールなどで教員とやりとりする。毎回の課題提出で出席と習熟度を確認するという。実習や実験は、学生が密集しないようにした上、共用の実験装置を消毒して実施する(名古屋大学)。

遠隔授業とは何か

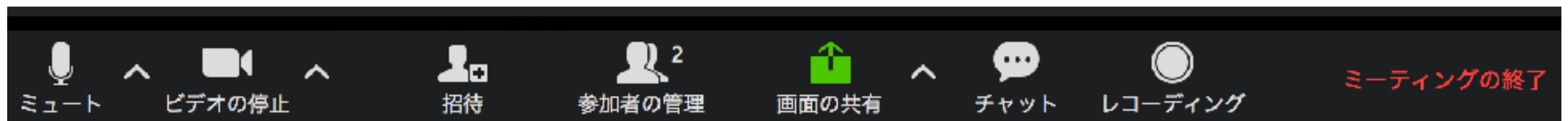
- 遠隔授業に必要な要素として、平成13年文部科学省告示第51号の第2号において、①設問解答、添削指導、質疑応答等による十分な指導と②学生の意見の交換の機会を挙げている

4/1 文科省 Q&A https://www.mext.go.jp/content/20200401-mxt_kouhou01-000004520_6.pdf

**本学では、ビデオ会議や質疑応答は予定された
時間割に実施してください！**

ビデオ会議 by zoom

- ・ 教授会で体験したように簡単なツール、多くの大学でも実績
- ・ 参加者は無償のアプリでスマホからも参加可
- ・ 何十人規模の会議が実用になる
- ・ 参加者全員が資料（画面）を共有して質疑応答できる
- ・ 300人規模の講義にはWebinarという別ツールを使う
- ・ 大学が正規ライセンスを取得する予定
- ・ **学内ネットのキャパ確保のため学外からビデオ会議をしてください**



セキュリティ問題が注目されているが、多くは修正済み -> 詳しくはWebで

教材・課題共有ツール

- ・遠隔で教材・課題をやりとりするためのツール
- ・電子メールも重要だが、多くのクラスがあると煩雑。特に、送ったvs受け取ってない問題が難しい。
- ・WebClass: 本学2年生はみな学習済みのツール
- ・Google Classroom: cis.twcu.ac.jpで使える無償ツール
- ・(Slack: ゼミなどの議論・共有に便利な無償ツール)

WebClass 教材・課題共有ツール

- 1年次情報処理で既習
- PDF, Word等を共有できる
- レポートやコメント課題を時間制限つきで設定可
- 学生ごとに管理、リスト作成
- 出席確認もできる
- 多肢選択のテストも作成可
- **キャパがない（同時400人）**
- **動画を教材・課題にしないで！**
- **遅いときは時間をおいて再試行**

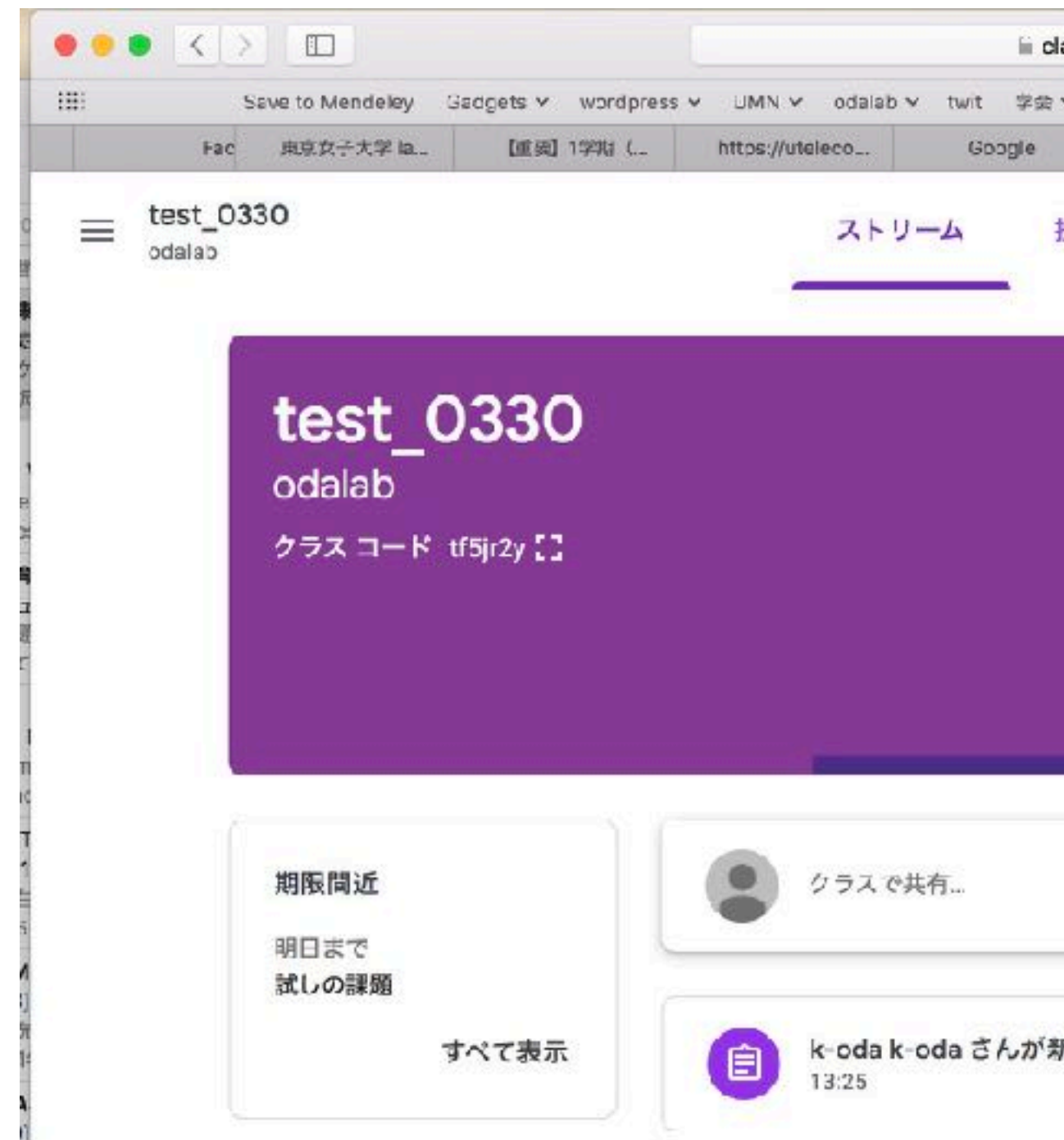
申請不要



-> 詳しくはWebで

Google Classroom 教材・課題共有ツール

- cis.twcu.ac.jpなら誰でも
- PDF, Word等を共有できる
- レポート課題を時間制限つきで設定可
- 学生ごとに管理、リスト作成
- cis.twcu.ac.jpの申請不要！
- 違うアドレスでは参加不能



まとめ

- 対面授業をできれば実施したいが不透明
- 遠隔授業でできるだけ対面と同等になる工夫をしたい
- 本学の事情を加味したWebを参照ください https://odako1.github.io/online_ed/
- 方法はいろいろあって良い（強制しない＆可能になっている、学生の混乱を考えると統一したいが困難）
- 通信障害や技術トラブルなど、あまり気にしない気持ち
- 遠隔でドロップアウトしやすい学生への支援が必要
- 社会で使えるICTを学ぶ貴重な機会としたい